

## コロナ禍で変化した 仕事のこと。

コロナ禍は、感染者の波が消える様子はまだありませんが。経済活動は、ウイズコロナとして活発になりつつあるこの頃です。そこで、コロナ禍の前後で仕事や生活で何が変わったのかエンジニア数名に聞きました。

### Tさん・ソフトウェア開発業務 グループリーダー

従事している案件が秘密情報を扱っていたため、コロナ禍前も後もリモートワークではなく、セキュリティが強化されたプロジェクトルームで作業をしていました。その後案件が変更になったことから完全フルリモートでの作業に移りました。

Q グループをまとめる役として、苦労していることは？

リモートワークが日常化する中でチーム力を高めるため、コラボレーションツール（「チャットツール」や「WEB会議システム」）を使用し、メンバーとリアルタイムに情報を共有しながら作業をしています。

Q プライベートでの変化は？  
通勤（以前は1万歩前後）がなくなったこともあり、運動不足気味です。炭水化物を多少制限してしのいでいます。



### Hさん・コールセンター業務

2020年6月以降、自宅リモートワークになりました。

業務はお客様サポートであり、お問い合わせに対しての調査報告（メールおよび電話）が主な内容となります。この業務の特性上ネットワークさえつながっていれば問題はなく、事業所で業務を行っていたときと全く変わらず作業が行えている状況です。

Q 部内のメンバーとのコミュニケーションは？

事業所で作業をしていた際には周りの方々と気軽に雑談していたのですが、リモートワークの場合はあまり雑談がなく、

多少コミュニケーションが希薄になった部分はあります。ただ、その分仕事に集中し、効率が上がっていると思います。

Q プライベートでの変化は？  
通勤時間（往復で2時間半程度）がそのまま自由時間となったため、生活にも余裕が出たと感じています。平日でも少し手の込んだ食事が作れたり、散歩してみたりと、余裕のある生活についていなど、しみじみと現在の生活を満喫しています。



### Oさん・ソフトウェア開発業務

2021年2月に入社したのでコロナ前後の働き方の変化はわからないまま過ごしてきました。印象的なのは、打ち合わせが対面ではなくほとんどWEB会議だったことです。お客様とはもちろん、入社しても目の前や隣の席にいる人ともWEB会議で会話する事もありました。

Q WEB会議が多く、担当の仕事に支障はなかったか？

入社して約1年は、金沢の事業

所で勤務、2年目から東京勤務となり、自宅リモートワークとなりました。当初はWEB会議でのコミュニケーションの難しさを感じ、質問のチャンスを逃してしまふなど、技術の習得で少し不便さを感じていました。

対面の会話とWEB会議を大きく区別して認識していたため、気軽に質問や意見交換をあまりできず、自分の成長を感じられずにいました。

今は、急務レベルを（高音声通話・（低）チャット・メールと定め、WEB会議でも質問があればその場か会議後にするなど、ツールを効果的に活用でき、必要な技術習得がしやすくなりました。しかし、他人と顔を合わせないことに慣れてしまうのが怖い気持ちもあります。

Q プライベートでの変化は？

コロナ禍なので、休日は、人が多い場を避け、自宅で休んでいることが多かったです。通勤時間がなくなり、自分の時間を確保できるようになったので、ジムに通うなど適度にリフレッシュする余裕ができました。



皆さん出勤時間が削減されたことで、その分有意義に過ごされているようです。ただ運動不足など課題もあるようですね。

## 来春入社予定社員の 内定式を開催。

2023年度に入社が内定した新人5名の内定式を、10月に金沢で行いました。今年の内定者は、それぞれ出身地や大学が各地に広がり、金沢は初めてという人も多くいました。



## お知らせ

2009年2月にAT通信第1号が発行、今回で60号です。以前の号の親睦会や、研修旅行などの記事を観ると、人と人がすごく近かった時代だったねと、あらためて感じます。最近はその距離がずいぶん広がりました。時は流れるのですね

